

## 日米欧原子力国際学生交流事業

### 日本原子力学会誌ATOMOΣ（アトモス）掲載用レポート 執筆要領

一般社団法人日本原子力学会

編集委員会

日本原子力学会誌ATOMOΣ（アトモス）掲載用レポートは、刷り上がり 1ページ（1,600～1,700字程度）の記事とします。執筆は下記の要領をお願いいたします。

■タイトル：適宜タイトルを付けてください。

■頁 数：刷り上がり 1 頁以内（1,600～1,700 字程度）

※写真・図表を入れる場合、字数に図表を含みます。（例：1/6サイズの写真・図表であれば、280字相当とし、本文の字数をその分減らしてください）

※論文等から図表を転載する際、転載許諾を得たものを使用してください。また、写真に人物が写っている場合、写真中の人物の肖像権使用の同意を得たもの（学会誌掲載の同意）を使用してください。

■掲載場所：日本原子力学会誌ATOMOΣ 会報部分

■原稿作成の際は、テンプレート（temp-日米欧.doc）を使用して作成してください。

■記事執筆にあたり編集委員会からの要望

それぞれ短期間の滞在で、いろいろ学ばれることと思います。現地に派遣された筆者が独自に経験されたこと、現地で滞在したことならではの筆者の思いの記述が盛り込まれていると今後、この事業に参加される後輩の方への、よりよい指針や参考になると思われます。筆者の思いや苦労や汗、充実感などの話を主軸に展開していただくことも選択肢かと思えます。ついては執筆の際、次ページの＜別紙＞の内容をもとに、学会誌掲載用の記事をまとめていただければ幸いです。なお、これらの項目のすべてに対応する内容を記していただくことを求めるものではありません。

☆執筆の際、不明な点がございましたら、学会事務局・学会誌担当《[hensyu@aesj.or.jp](mailto:hensyu@aesj.or.jp)》までお気軽にご連絡下さい。

<別紙>

日本原子力学会誌ATOMOΣ 掲載用 日米欧原子力学生国際交流事業 派遣学生レポート作成で留意して  
いただきたいこと

- ①この事業に参加しようとした動機は？
- ②そのために意識して準備したものはありましたか？
- ③滞在期間中に行うべきことについて、優先順位は決めていましたか？
- ④渡航して一人で生活を始めるための環境作り・滞在先大学に係る手続きなどは思ったより  
たいへんでしたか？ どのように進めることが出来ましたか？
- ⑤滞在先の大学研究室で、学びたいことはどのように決めましたか？
- ⑥滞在期間中で、先方の研究に参加するための話し合いはどのように行われたでしょうか？
- ⑦海外から見た日本の研究環境、大学生活と現地での研究生活の差異はありましたか？
- ⑧いろいろな異なる経験を有する研究室の方々との交流はどのようなものでしたか？  
学生の夏休み期間中の滞在先のメンターなどは決められていましたか？
- ⑨研究室以外の時間の過ごし方は、いかがでしたか？ 研究以外で、特に注目していた活動・関心事  
に時間をとることはできましたか？ そのための工夫はどのようにしたのでしょうか？
- ⑩滞在中に感じた文化的な違いはありましたか？
- ⑪日本に戻って、後輩・周りの方々に、この事業への参加を勧めますか？

以上